



# 寺町11か寺



**本** 願寺 (ほんがんじ)

(法華宗)

本願寺は法華宗(本門流)の大本山で、開祖日隆上人は、尼崎興浜の米屋二郎五郎の外護を受け尼崎に布教しました。また、上人は寺内に勸学院をつくり、門弟の根本道場として後継者の育成に努めました。  
開明町3-13 TEL 06-6411-3217



**金** 宗寺 (きんしゅうじ)

(曹洞宗)

この寺は戸田家の菩提寺として現在の滋賀県大津市に建立されましたが、1617年(元和3)戸田氏鉄が尼崎藩主として移封入城の際、随伴した雪山吞秀和尚によってこの地に再興されました。  
開明町3-11 TEL 06-6411-0258



**廣** 徳寺 (ひろたけ)

(臨濟宗)

京都大徳寺派の寺で、言外宗忠が開きました。大徳寺文書などに廣徳寺の名は記されています。また、太閤秀吉ゆかりの寺としても有名です。  
寺町8 TEL 06-6411-2424



**甘** 光寺 (かんこうじ)

(浄土宗)

1711年(正徳元)寂普上人代に信者岸田屋浄順の請願によって城主松平遠江守は常行念仏三昧道場の許可を与えました。それ以来、今日に至るまで別時念仏会を修行しています。  
寺町6 TEL 06-6411-3262



**法** 普寺 (ほっぽうじ)

(浄土宗)

境内には五輪塔があり、秀吉から九州での失策の責任をとりきり切腹を命ぜられた北陸の武將佐々成政の墓と伝えられています。寺宝として後醍醐天皇御宸筆の和歌一首の掛軸などがあります。  
寺町5 TEL 06-6411-6108



**大** 国寺 (おおくにじ)

(律宗)

長洲庄の地元支配を握っていた当寺は鎌倉末期から港湾都市尼崎の発展に大きな貢献をし、また、近世の尼崎城が構築されるまでは大覚寺城として宗教・政治・経済・文化に活躍しました。  
寺町9 TEL 06-6411-2705



**長** 遠寺 (ちやうぜんじ)

(日蓮宗)

日蓮宗の有名なお寺として知られています。通称を法花寺ともいいました。1350年(観応元)京都本願寺四世、妙龍院の高弟、永存院日恩(当時100歳)が開いたと伝えられています。  
寺町10 TEL 06-6411-0573



**女** 院 (にのみやにん)

(浄土宗)

古くは「神崎釈迦堂」といい、創建は神崎の地です。当院には、平安末期につくられた絵の一本造りの釈迦如来坐像がまつられています。  
寺町11 TEL 06-6411-3794



**専** 念寺 (せんねんじ)

(浄土宗)

1177年(治承元)、法然上人に帰依した平重盛によって東長洲に創建された後、重盛の菩提寺となりました。通称「赤門の寺」と呼ばれ、本尊をはじめ多くの仏像が伝来しています。  
寺町12 TEL 06-6411-8108



**善** 通寺 (ぜんとうじ)

(曹洞宗)

時宗四条派大本山京都四條の金蓮寺に属し、近江木之本の浄信寺、尾張熱田の円福寺とともに金蓮寺下の御三か寺の一つです。  
寺町3 TEL 06-6411-2392



**常** 澤寺 (じょうざいじ)

(浄土宗)

1504年(永正元)、心養浄雲上人により開山。往時観音巡拝の札所とされ、1635年(寛永12)、尼崎城主戸田氏鉄により大垣に分寺され、今も残っています。モダンな本堂は平成4年の再建です。  
寺町1 TEL 06-6411-9089

## 四〇〇年の長い年月を先人達は守り続けてきました

尼崎の代表的な歴史空間「寺町」は約3.9ヘクタールの地域に11か寺が軒を連ね、かつての城下町であった面影を今に伝えています。寺町とは、多くの寺院が集まった地域に見られる地名で、その多くは、近世城下町の建設とともに、政治的意図をもって城下町の外縁に造られました。

16世紀の後半、豊臣秀吉によって全国統一がなされ、領主たちは自身の拠点を強化する施策の一つとして城下町を建設しました。城下町には、武士や商工業者を集住させるとともに、寺院も支配の網の目に組み込まれ、従来集まっていた寺院が一か所に集められました。典や京都を代表とする豊臣政に進められ、徳川政権下で町整備へと引き継がれ、

# 寺町って?

が配置されたのか、その建物の広がり、いかにを担い、平時にも大人数を考慮して配置されたのか、

もう一つの目的は、宗教政策からです。寺院を院勢力を統括しやすいかは戦国時代の一方向に寺院との対立という経験

1617年(元和3年)いまだ津から譜代大名戸田氏鉄が5万石の尼崎藩主入部から3ヶ月後の1617年10月、尼崎に新城を築られ、京都・大阪の守りの一人、築城の名人とい

城内の総面積約13万平方メートルもの広さに、四重の天守を持つ城が築かれたのも、尼崎は水陸交通の要衝の地であり、大阪の西を固める支城としての重要さが認められたからです。

新城の築城と同時に城下町の整備も進められてきました。城を中心として東西に町場が整備され、東はいまの大物から、西は貴布禰神社のあたりまでが城下町です。寺町には、城郭建設の予定地にあった寺院をはじめ、中世以来町場にあった寺院、戸田氏入部に従って津から移ってきた寺院も集められました。

寺院の区画は、ほぼ当初と変わりなく、約400年、幾多の災害を乗り越え、先人達が守り続けてきました。時代とともに全国の寺町が大きく様変わりしていくなかで、尼崎の寺町は市街地の中心部にありながら、今日に至っているのは極めて貴重な存在といえます。

また、由緒ある寺院が多く、国・県・市指定文化財も集中しています。2018年に尼崎城が再建されるため、寺町への注目も高まっています。

## 寺町の年中行事

正月 各寺院で元旦法要、修正会などが行われます。  
2月3日 節分の日、大覚寺では狂言が上演され、善通寺では甘酒がふるまわれます。また、両寺では、厄除けだるま(忌布だるま:兵庫県献上玩具)が授与されます。本願寺でも節分会が行われます。

2月15日 各寺院で涅槃会などが行われます。  
4月8日 各寺院で花祭りなどが行われます。  
8月 お盆には各寺院で施餓鬼会などが行われます。

10月13日 長遠寺では、お会式法要が行われます。  
11月3日 本願寺では、虫干会が行われ、寺宝が一般公開されます。  
11月12、13日 本願寺では、お会式法要が行われます。

写経会 全昌寺 1日、如来院 第1日曜日  
本願寺 第3日曜日、大覚寺 21日  
専念寺 不定期(年3~4回)  
その他 全昌寺 座禅会 第2日曜日  
甘露寺 念仏会 主に第3日曜日  
大覚寺 弘法大師宗祖忌 21日

## 寺町の指定文化財 (平成29年7月末現在)

- 国の指定文化財 6件  
本願寺 木造日隆上人坐像、開山堂、三光堂、方丈、太刀銘恒次(名物数珠丸)  
長遠寺 本堂・多宝塔  
県の指定文化財 3件  
本願寺 鐘楼  
長遠寺 鐘楼・客殿・庫裏  
大覚寺 大覚寺文書  
市の指定文化財 16件  
如来院 石造笠塔婆、銅鐘、本堂・表門  
長遠寺 絹本着色涅槃図、鯛口・雲版、長遠寺文書、紙本着色日蓮大聖人註面讃、日蓮書状(乙御前母御書)、日蓮筆曼荼羅本尊  
本願寺 流水文銅鐘、本願寺文書、三光堂向唐門、海北友松筆押絵貼屏風、笠塔婆  
大覚寺 弁財天宮  
善通寺 本堂

## 寺町の周辺



**尼崎城** (北城内27) 06-6480-5646  
別名「琴浦城」とも言われ、江戸時代の1617年(元和3)から数年の歳月をかけて戸田氏鉄により築城されました。一度、廢城令により取り壊されましたが、2019年(平成31)3月に再建されました。  
ホームページ <https://amagasaki-castle.jp/>



**貴布禰(きふね)神社** (西本町6-246) 06-6411-0170  
"尼のきふねさん"で親しまれ、中世以降尼崎城主に尊ばれ、代々祈願所を務めたとされています。夏祭りには多数の町内地車が繁華街を競うように練り歩き賑やかです。(8月1、2日)



**尼信会館** (東桜木町3) 06-6413-1121  
尼崎藩主榊原松平家ゆかりの重要文化財・太刀銘守家をはじめ、尼崎市指定文化財である歴史的に重要な資料が数多く展示され、また、日本の大判小判を含め世界170カ国の金貨銀貨も常設展示されています。回廊前に明治時代のレンガ造りの貴重な建物・尼信記念館があります。

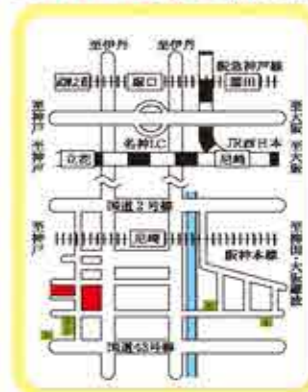


**尼信「世界の貯金箱博物館」** (西本町北通3-93) 06-6413-1163  
世界62カ国の今と昔の貯金箱を約13,000個收藏。質・量とも世界で最大級ユニークな博物館です。  
ホームページ <http://www.amashin.co.jp>



**尼崎市立文化財収蔵庫** (南城内10-2) 06-6489-9801  
かつて尼崎城の本丸のあった場所に、尼崎市立高等女学校の校舎として、1938年に竣工した建物。市内の道場から出土した遺物や江戸時代の尼崎城に関する資料などを展示しており、尼崎市の歴史を学ぶことができます。  
(令和2年秋 リニューアルオープン予定)

## ■寺町への交通手段 (三宮から24分、大阪から8分)



- 電車でお越しの方は、  
・阪神尼崎駅より南西へすぐ  
・阪神バスで阪神尼崎下車(尼崎市内線)  
阪急線口駅より⑬  
阪急武庫之荘駅より⑭  
阪急園田駅より⑮⑯  
J R 尼崎駅より⑰  
J R 立花駅より⑱⑲  
・阪急バスで阪神尼崎下車  
・阪神バスで東灘線下車(阪神線)  
車でお越しの方は、  
阪神尼崎駅南側の市営駐車場へ